

施設ご案内・交通ご案内

介護老人保健施設 女池南風苑

〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目3番地3
TEL(025)284-3411 FAX(025)284-2188

在宅介護支援センター 女池南風苑 [指定居宅介護支援事業者]

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3
TEL(025)283-0500 FAX(025)283-0663

新潟南訪問看護ステーション

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3
TEL(025)284-7511 FAX(025)283-0663

にいがたみなみ めいけクリニック

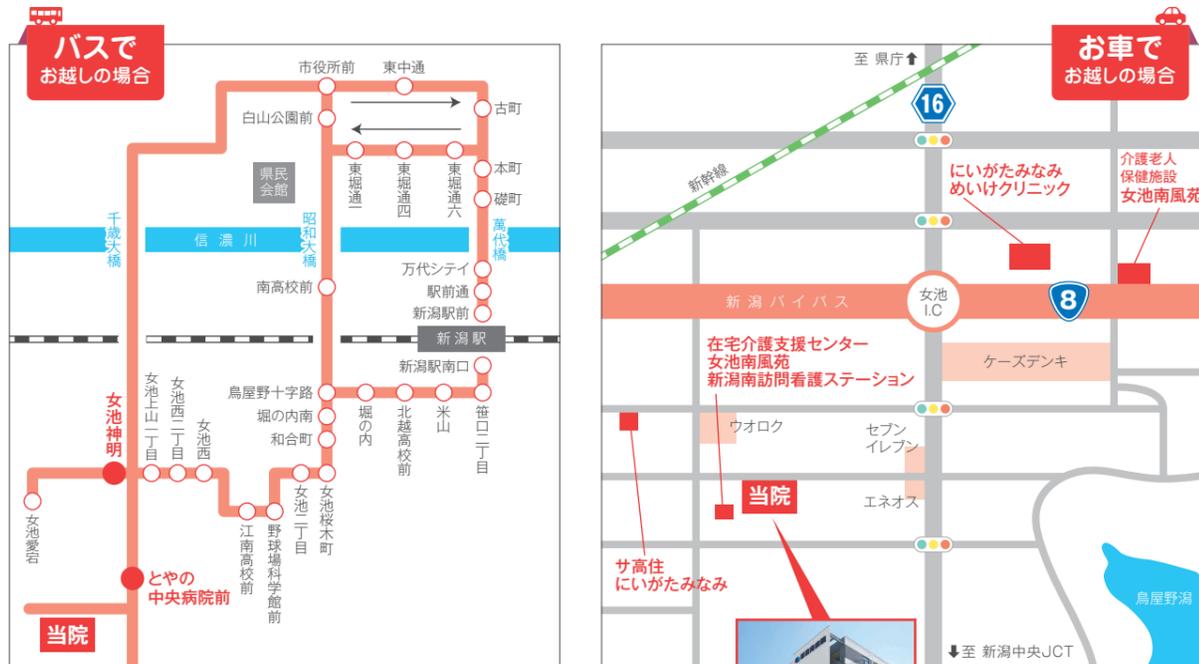
〒950-0943 新潟市中央区女池神明1丁目7番地8
TEL(025)284-7818 FAX(025)284-7830

サービス付き 高齢者向け住宅 サ高住 にいがたみなみ

〒950-0950 新潟市中央区鳥屋野南3丁目25番16号
TEL(025)284-3535 FAX(025)282-7226

院内保育所(24時間保育) わんぱく園

〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野2009-3
TEL(025)284-9563



新潟駅南口方面からお越しの場合
(S51女池線)女池愛宕行(3番線)にご乗車いただき「女池神明」で下車 徒歩15分
新潟市役所方面からお越しの場合
(S1市民病院線(6番線)にご乗車いただき「とやの中央病院前」下車、徒歩5分

上記以外にも、最寄りのバス停から当院までのルートを下記のURLにて調べることができます。

にいがた新バスシステムの時刻表・運賃検索

<https://transfer.navitime.biz/niigatabrt-newsystem/pc/map/Top>



フロアご案内

1階	10 総合受付	11 小児科 <small>小児言語聴覚療法</small>	12 内科	13 中央処置室 <small>採血 点滴 化学療法</small>	14 放射線	15 内視鏡・生理検査	16 救急・時間外
2階	21 母乳外来	22 整形外科・外科・皮膚科・泌尿器科	23 眼科	24 歯科・婦人科	25 ドック・健診センター		
3階	31 手術センター	32 管理部門					
4階	● 西病棟 401 ~ 420	● 東病棟 451 ~ 469					
5階	● 西病棟 501 ~ 515	● 東病棟 551 ~ 561					
6階	● リハビリテーション室	● 西病棟 601 ~ 610					

みなみだより

令和元年 6月号 [vol.16]

整形外科のご紹介	2・3
泌尿器科のご紹介	4・5
栄養管理部のご紹介	6・7
病棟のご紹介(その4)	8
病棟のご紹介(その5)	9
外来のご紹介	10・11
施設ご案内・交通ご案内	12

医療法人 恒仁会 新潟南病院

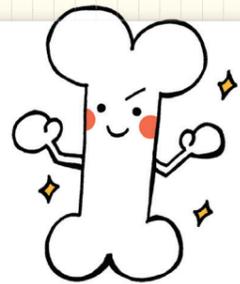
併設
介護老人保健施設 女池南風苑
在宅介護支援センター 女池南風苑
[指定居宅介護支援事業者]
新潟南訪問看護ステーション
にいがたみなみめいけクリニック
サ高住 にいがたみなみ
院内保育所(24時間保育) わんぱく園

〒950-8601
新潟市中央区鳥屋野2007-6
TEL(025)284-2511(代表)
FAX(025)284-2080

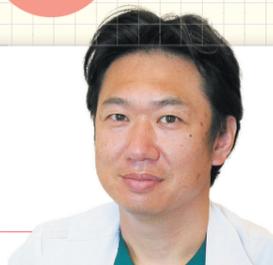
<http://www.niigataminami-hp.com>

基本理念：
医療・保健・福祉活動を通して地域社会に貢献し、
社会的責任と与えられた使命を全うします

整形外科のご紹介



整形外科部長 和泉 智博



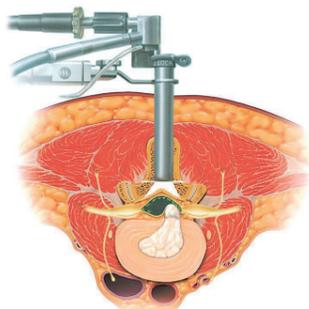
昨年11月に新潟南病院が新設移転し、整形外科としても手術室がパワーアップした環境とともにスタートを切ることができました。さらに、今年の4月からは脊椎外科を新設することとなりましたので御紹介させていただきます。

脊椎外科を簡単に説明しますと、首から腰までの「せぼね」の痛みや坐骨神経痛を含めた神経痛を薬や注射の治療や、手術治療をする専門家です。実は84%の人が一生に一度は腰痛を経験すると言われておりますので、皆さんも一度は腰痛や神経痛により、日常生活が困難になった経験があると思います。腰痛や神経痛の原因は椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、骨粗鬆症による椎体骨折と多岐にわたり、この病気こそ脊椎外科が担当する一番大きな分野となりますので、当院で行う低侵襲な手術治療法を御紹介します。

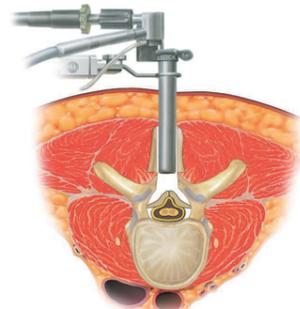
内視鏡手術

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症に対しては、基本的には内視鏡手術を行います。1か所につき約3cmの傷から内視鏡を挿入して、骨を削ってヘルニアの摘出や脊柱管の除圧を行います。多数の部位に病変があっても、最大2~3か所まで行うことができます。出血も少ない手術ですので、手術翌日もしくは翌々日には歩くことが可能です。手術後はリハビリにより歩行が安定すれば約1週間で退院となります。リハビリ継続の希望があればリハビリをしっかりと行った後に退院となります。

内視鏡下
ヘルニア
摘出術



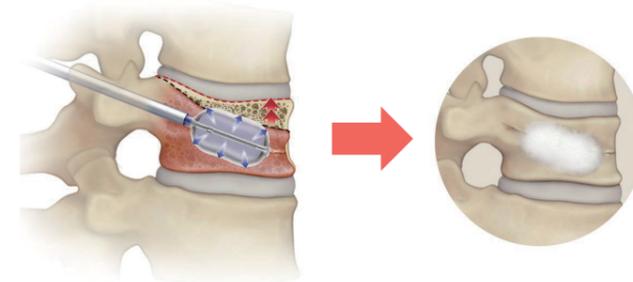
内視鏡下
椎弓切除術



経皮的椎体形成術

骨粗鬆症による脊椎椎体骨折に対する治療です。基本的にはコルセットによる保存的治療が優先されますが、骨粗鬆があり治癒が悪い場合は背中から脊椎に小さな穴をあけて、骨折部を整復してからセメントを注入して骨折部を補強して治療します。手術翌日からリハビリを開始して歩くことが可能で、早いと約1週間で退院することができます。リハビリを継続することもできます。硬性コルセットは2-3か月装着して外来で経過をみます。

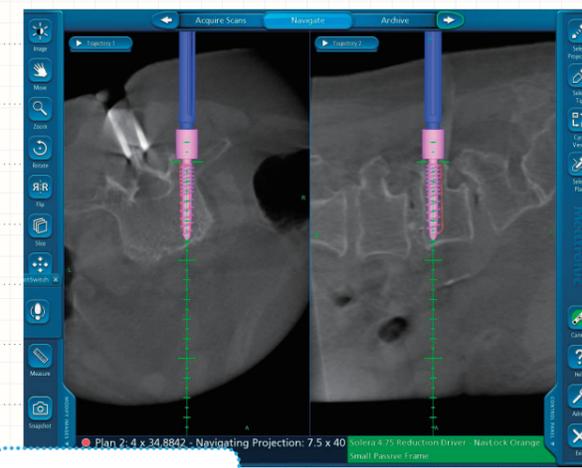
経皮的椎体
形成術



ナビゲーション手術

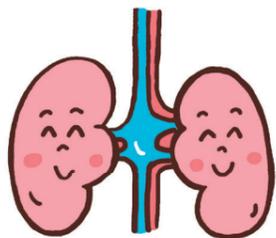
高度な腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、脊椎椎体骨折に対してはスクリューを使った固定術が必要となることがあります。正確にスクリューを脊椎に挿入するために、コンピューターによるナビゲーションを使用した手術を行います。手術室で術中CTを撮影して骨の形やスクリューの方向を確認し、スクリューが安全に椎体に設置するようにナビゲーションがガイドをしてサポートをしてくれます。これを使うことによって、小さな傷で皮膚からスクリューを挿入することも可能です。先程説明した、内視鏡手術や経皮的椎体形成術でも応用することができ、安全に手術を行うことができます。

新潟南病院も新病院となり、整形外科としても脊椎外科を立ち上げて最新機器を準備しています。高齢で合併症がある患者様でも、各科の先生のサポートや低侵襲手術を心がけることで安全に治療していきたいと思っております。「せぼね」で困っている際には脊椎外科に相談してください。



ナビゲーション
手術による
スクリュー挿入

泌尿器科のご紹介



泌尿器科医師 小松原 秀一



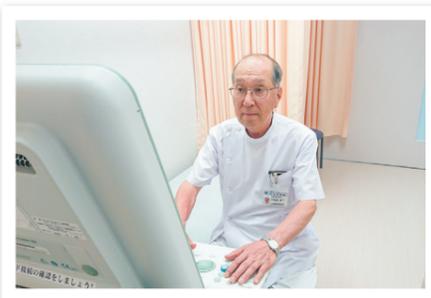
泌尿器科は新病院の2階に移転し旧病院と同様の時間に診療を行っております。

この機会にどのようなお悩みの方が泌尿器科を受診されているかご紹介いたします。

泌尿器科は尿路（腎、尿管、膀胱、尿道）と男性性器（精巣、前立腺、陰茎）の炎症、尿路結石、腫瘍（癌あるいは良性腫瘍）が診療の守備範囲です。

受診される人のお悩みは、排尿の痛み、尿が赤い、夜トイレに起きる、排尿に時間がかかる、尿が漏れる、脇腹の激痛で結石かもしれないといわれたなど様々です。健診で尿潜血といわれた、PSA（前立腺特異抗原）が高く泌尿器科受診を指示された方もいらっしゃいます。

よく耳にされると思いますが、前立腺肥大症とは男性が高齢になって前立腺が大きくなり、膀胱出口の尿流を妨げて、排尿に時間がかかる、排尿後に尿が残る、トイレが頻繁などの症状がでます。はなはだしい時には全く尿が出ない尿閉という苦しい状態になる方もいらっしゃいます。超音波検査や肛門からの指触診で診断します。薬剤は排尿を助ける作用が主なものですが、薬で解決できなければ前立腺（肥大した核の部分のみ）摘出手術が行われます。同様に排尿がうまくいなくなる病気に神経因性膀胱があり、脳梗塞などの神経障害が原因で、これは男女とも起こります。



一方同じ前立腺でも癌は肥大症とは全く別の病気で、患者数は増え続けています。診断の第1歩はPSA検査によるスクリーニングで、人間ドックや自治体のがん検診で、また外来受診の方も疑いがあれば採血します。前立腺癌は初期のうちには症状が無く、PSA値の上昇が診断のきっかけになります。ただしPSA異常は他の原因によることも多いため、MRI検査を行って更に疑いが深まれば精密検査（前立腺生検）が必要になります。直腸経由の針生検は当科でも多数行なっています。治療は前立腺全摘出手術、放射線治療、内分泌療法などがあり、年齢、進行程度により治療法を選択して頂きますがいずれも予後良好です。内分泌療法は注射や飲み薬で身体への負担が少なく、御高齢でも進行した癌であって

も有効な外来治療法です。

近頃はオシッコに近いことで悩む方が多いようで、新聞やテレビでその類の宣伝を目にしない日はありません。男性の場合は前立腺肥大に伴う症状である事が多く、排尿困難状態の改善を優先させて薬の処方を開始します。過活動膀胱という病名を目にされると思いますが、切迫尿意（尿意を感じたらトイレに駆け込まなければならないような）の症状が必須で、頻尿を伴うことが多いので誤解があるようです。食事を含めた水分摂取が過剰な方の頻尿もあり、前立腺肥大や過活動膀胱と区別する必要があります。

夜間のトイレ通い（夜間頻尿）は多くの男性の悩みの種になっており、まず前立腺肥大症を考えます。ただし、夜間多尿のこともあって問題は更に複雑です。夜間多尿とは膀胱の容量（400ml前後）を超えて腎臓から排泄される夜間の尿の増加です。若いうちには夜間の血圧下降などにより尿量は減少するので夜間にトイレに行かなくて済むのです。このように夜間多尿の原因には動脈硬化や高血圧など意外な生活習慣病が関わっているともいわれていますが、飲水過剰が原因のことも多く（個人の事情も考慮せず水分摂取を盛んに勧めるテレビなどの何と多いことか）、必要に応じて排尿時間と尿量を昼夜連続で測定していただく排尿日誌により、1日尿量、1回尿量、夜間尿量をチェックします。また尿検査で尿の比重をみることも参考になります。頻尿を訴える人のなかには水のように薄い（比重の低い）尿の方もしばしば目にします。

尿が赤くなる場合を肉眼的血尿と呼び、膀胱などの癌や尿管結石の可能性を考えて検査します。原因が不明（特発性腎出血）で自然に止血することもあります。慎重な検査が必要です。おむつで排尿されているご高齢の方には、慢性膀胱炎に膀胱出血を併発して受診される方もいらっしゃいます。目に見えない僅かな血尿のためドックや健診などで尿潜血といわれて受診される方も多く、潜血の中には顕微鏡でみると尿に混じる赤血球が正常の場合やごくわずかな増加の場合も多く、治療を要する病気が見つかる可能性は低いのですが、やはり泌尿器科を受診されて確認されるのがよいでしょう。また尿潜血と尿蛋白が同時に出ている場合は内科的な腎疾患のことがあり、腎臓専門の内科にご紹介することもあります。

なお、前立腺肥大症や尿路結石の手術、癌の手術や放射線治療は技術も装備も専門的になって、病院間の役割分担が進んでいます。必要に応じて適切な専門病院に治療を依頼いたします。

やや難しい話になりましたが、このような病気の説明は受診された折や治療経過中にもお話ししております。どうかご気楽に受診して頂きたいと思います。





栄養管理部のご紹介

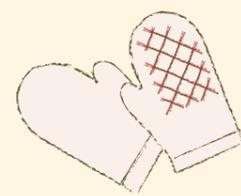
管理栄養士長 河内 恭典

栄養士というと、割烹着を着て献立作成の傍ら調理場で食事を作っているイメージを持たれている方が多いかと思います。確かに給食部門の栄養士はそのイメージ通りです。しかし、当院の栄養士は、主に外来患者さんや入院患者さんの栄養管理を行っており、給食部門は監督をしているものの委託会社に任せておりますので、皆さんのイメージとは異なるかもしれません。ここで少し、当院栄養士のお仕事を紹介します。外来業務は、栄養相談室を持ち場として、糖尿病、脂質異常症、高血圧症の患者さんなどに対して栄養指導を行っています。入院業務は、口腔機能や嚥下機能に問題のある患者さんに対して、安全に食事が食べられるように歯科医師や言語聴覚士と連携して、食事形態の調整を図ったりしています。その他に心不全患者さんに対する栄養指導を行ったり、低栄養の患者さんや手術を行った患者さんに対する栄養サポートなどを行ったりと多岐に及びます。そして、当院の栄養士は院内に止まらず、当院の医師やクリニックの医師からの指示で在宅の患者さんに対しての訪問栄養指導も行っています。在宅に於いては、車の両輪の様な関係と言われるリハビリテーションと栄養管理が連携を密にして、訪問リハビリテーション栄養という全国でも珍しい取り組みを行っているところで、成果をあげています。地域の皆さんが住み慣れた場所で、末永く暮らせるよう栄養管理を通してお手伝いさせていただきたいと思っています。

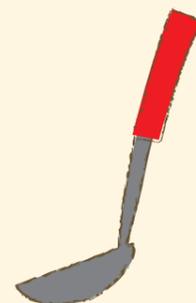
栄養管理部は移転に伴い、給食部門が大幅にリニューアルとなりました。中でも、温冷配膳車の導入が一番のニュースとなります。温冷配膳車とは、温かい料理は温かく、冷たい料理は冷たいまま提供できるように温度管理機能が付いた配膳車です。旧病院の冬場は、せっかくの料理が患者さんのもとへ届く頃には冷めてしまっていて、ご迷惑をお掛けしておりましたが、新病院では温度管理がきちんとされた状態で、お届けできるようになりました。

もうひとつのニュースは食器の新調です。患者さんからは「食事は入院生活における楽しみのひとつ」とよくお聞きしますので、「おもてなし」の表現のひとつとして「病院食らしくない」をコンセプトに食器の選定を行いました。患者さんやご家族からも温かい評価を頂いており、大変励みとなっています。まだまだ発展途上ではありますが、入院生活を乗り越えるための活力をお届けできるように、安心・安全、そして美味しい食事作りにもこれからも励んで行きたいと思っています。

最後に新潟南病院のfacebookには、年中行事に因んだ食事や栄養士の取り組みの様子を投稿していますので、これからも温かいご声援をお願いします。



お食事一例



温冷配膳車



栄養相談室

病棟のご紹介 その4



4階西病棟師長 渡邊 陽子

4西病棟は、外科・内科・小児科の混合病棟であり、患者さんの年齢層も0歳～90歳代と幅広くなっています。

外科は、そけいヘルニア根治術、がん切除術、胆のう摘出術、人工肛門造設術などの手術の患者さんや点滴での化学療法目的の患者さんが多く入院しています。

そのため手術後の痛みを少なくしたり、手術後の早期の回復のために医師とよく話し合い患者さん・ご家族が安心して過ごせる様対応しています。新病院になったことで病棟内に個室が設置されました。手術前に入浴し清潔な状態で手術に臨むことができ、術後の感染予防にもつながっています。

内科は、心不全や肺炎など慢性疾患から脳梗塞や腸閉塞など幅広い疾患に対応しています。私たち看護師は様々な疾患の看護を提供するために知識向上を図っています。また、入院時から医療相談員やリハビリスタッフ、栄養士と連携をとり、退院後の生活を見据えた援助や退院指導、サービス調整を行なって安心して退院できるよう関わっています。個室が一番多い病棟であり感染対応の必要な患者さんの入院もありますが、手洗いや手指消毒など感染対策を徹底しています。

小児科は、新病院に移転してから完全個室でシャワー・トイレ完備となりました。そのためご家族も他入院患者さんを気にすることなく付き添うことができ、入院生活が過ごせる環境となりました。疾患としては、肺炎・気管支喘息・川崎病・熱性けいれん・胃腸炎の入院が多くを占めています。入院は患児だけでなくご家族全体の生活が大きく変わります。ご家族の不安等も受け止められる様統一した看護を提供していきたいと思っています。

看護師はみんな元気で明るく、忙しい中でも笑顔で患者さんと接しています。パートナーシップという看護師2人がペアとなり検温や処置に何う方式も取っており、患者さんの状態を一緒に観察し、より良い看護が提供でき、また状態変化した時にすぐに対応できるよう情報交換をしながら看護ケアや処置をしています。

今年度は接遇に関して勉強会を行い、患者さんやご家族に快適な入院生活を送っていただくため、日々の対応についてスタッフ一同精進していきます。

病棟のご紹介 その5

4階東病棟師長 山崎 亜沙子

4階東病棟は一般内科、血液内科、婦人科、眼科の混合病棟です。血液内科は、化学療法や輸血を目的とされる方、眼科は白内障や網膜剥離など、婦人科は子宮筋腫や卵巣のう腫などの様々な疾患で手術を目的に入院されています。手術目的で入院される方は短期間での入院が多く、入退院が多い病棟となっています。

新病院に移転し、スタッフステーションの壁や部屋番号ボードが桃色で明るい雰囲気病棟になりました。お部屋のタイプも個室が増え、ご希望に沿ったお部屋の選択ができ快適に過ごしていただけるようになりました。また、他病棟との違いは、血液内科があるためクリーンルームと呼ばれる無菌室が2床併設されていることです。化学療法を受けた後は身体の抵抗力が低下し、感染しやすい状態となっています。医師と相談し、感染の危険がある患者さんはクリーンルームに入ってください。クリーンルーム入室中は、状態によってはお部屋の外に出ることが困難ですが、大きな窓があり景色を見ることが出来ます。治療によって体の状態は変化がありますが、その日の状態に合わせて清拭や入浴などを勧め、気分転換が図れるよう努めています。また、治療経過についての注意点などは看護師からも一つ一つ分かりやすいようお話をさせていただきます。入院生活が少しでも不安なく、快適に過ごしていただけるよう努めています。

現在は、患者さんが自宅で過ごす時間が増えるように、外来で化学療法を行う方も増えてきています。入院から外来へ治療がスムーズに移行できるよう、関連部署との情報共有を行い、継続したケアが提供できるよう取り組んでいます。

当病棟では、看護師が安全で質の高い看護を提供することを目的として、2人の看護師がペアとなって患者さんのお部屋にうかがうようにしています。この方式を行うことで、看護師同士での知識の共有や情報伝達を行うことがスムーズとなりました。看護師2人で担当するので、患者さんからの要望にもすぐに対応することができ、待たせない看護に繋がっていると感じています。これからも日々努力を重ね、安心して安全な看護が提供できるよう頑張っていきたいと思っています。





外来のご紹介

外来師長 田村 好美

当院の外来部門は、内科(循環器・血液・呼吸器・糖尿病・内分泌・消化器・神経など)、外科、小児科、泌尿器科、整形外科、眼科、皮膚科、婦人科、母乳外来、訪問診療、手術室、内視鏡、健診を担当しています。スタッフは看護師、クラークの計49名、院内で1番大きな部署です。子育て中のスタッフが多い中、お互いに理解し合い、仕事と家庭を両立出来るようチームワークを育てています。地域の中核病院の外来として外来看護師に求められる知識や技術も多様化・高度化していますが、より質の高い外来看護を目指し、自己研鑽に励み資格取得に努力し、各科にエキスパートナースがそろっています。

地域包括ケアが重要視される中、当院では外来・病棟・地域での継続看護が行われるようシームレスな連携に取り組んでいます。退院後、訪問診療をご利用される患者さんも多く、外来の訪問診療同行看護師が患者の状態把握だけでなく、看護の視点で患者さんの思いや家族からの相談、生活や療養のアドバイス等を行っています。また、入院から外来に移行し治療を継続される患者さんにも安心して外来で継続治療ができるようにそのシステム作りやスペースも確保されております。特に外来化学療法室は、個人のスペースが確保された空間にベッド、テレビが設置され長時間の治療も快適に過ごす事ができます。また、新病院外来エリアには、落ち着いて点滴等加療のできる中央処置室、そして中央処置室に連動し、救急外来が配置され、救急医療体制の強化、充実を図っています。

常に患者さんを温かく迎え、安心して外来受診ができるよう多職種と連携を図り、優しく思いやりの心を大切にする看護を提供していきたいと思っております。



外来診察表

令和元年5月13日～

※自動再来受付機(再診のみ)8:00～受付致します。
※新患は総合受付窓口にて、8:30～受付致します。

科 別	診察時間	月	火	水	木	金	土(第1)	土(第2)	土(第3)	土(第4)		
内 科	09:00 12:00	1診	(消化器) 見田	(消化器) 見田	渡部(透)	(消化器) 見田	(消化器) 佐藤(裕)	上原	大西	見田	小堺	
		2診	和泉(敬)	大西	佐藤(裕)(第1,3,5) ※第2,4は休診	上原	大西	種熊	小幡		大西	
		3診	(呼吸器) 種浦(敬)	(呼吸器内科感染症科) 津畑	(呼吸器内科感染症科) 津畑	(高血圧・循環器) 横山	(呼吸器) 種浦(敬)		(呼吸器) 予約優先 種浦(敬)			(呼吸器) 予約優先 渡部(聡)
		4診	渡部(裕)	(糖尿病・内分泌) 予約制 岩永	渡部(裕)	(循環器) 予約制 南野	(糖尿病・内分泌) 予約制 佐藤(隆) ※2	渡部(裕)	(糖尿病・内分泌) 小松	渡部(裕)		(糖尿病・内分泌) 安楽
		5診	上原	(高血圧・循環器) 横山	(循環器) 阿部(暁)	(循環器) 阿部(暁)	(循環器) 阿部(暁)					根本
		6診				(糖尿病・内分泌) 予約制 矢口 ※2						
		7診										
小 児 科	14:00 16:00	1診	大西	(血液) 予約制 小堺	和泉(敬)	小幡 (14:30～16:00)	(血液) 予約制 小堺	土(第5) <2019 / 6月> 土(第1)の診察医 <2019 / 8月> 土(第2)の診察医 <2019 / 11月> 土(第3)の診察医 <2020 / 2月> 土(第4)の診察医 *渡部(聡)医師・小松医師・安楽医師の診察は休診です。 *土(第2,4)の医師が診察する場合、5診は渡部(裕)医師の診察です。				
		2診		和泉(敬)	種熊	種熊	種熊(第2～5)					
		3診	(呼吸器内科感染症科) 津畑	(呼吸器) 予約制 木村	(呼吸器/循環器) 種浦(敬)(第1～3,5)	(睡眠時無呼吸) 予約制 種浦(津畑) (15:00～16:00)	(呼吸器) 予約制 庄子					
		4診	(血液) 予約制 根本	渡部(裕)	(血液) 予約制 根本	(血液) 予約制 渡部	渡部(裕)(第1)					
		5診	(心臓血管外科) 金沢		(呼吸器/循環器) 種浦(敬)(第4)		(神経内科) 予約制 石原					
		6診										
		7診										
リハビリ科	09:00 12:00 14:00 16:30	1診	和泉(由) (予約制)				小幡 (予約制)					
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
泌 尿 器 科	09:00 12:00	1診		小松原	小松原	小松原	小松原					
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
小 児 科	09:00 12:00 14:00 15:00 16:00 17:30	1診	伊東 山崎	伊東 丸山	伊東・山崎・丸山 (交代制)	丸山 山崎	伊東 山崎	*土曜日は隔週交代 伊東・山崎・丸山 伊東・山崎・丸山 (交代制) (要予約) 伊東・山崎・丸山 (交代制) (要予約) 伊東・山崎・丸山 (交代制) (要予約) 伊東・山崎・丸山 (交代制) (要予約) 伊東・山崎・丸山 (交代制) (要予約) 伊東・山崎・丸山 (交代制) (要予約)				
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
外 科	09:00 12:00 15:00 16:30	1診	早見	佐藤(洋)	早見	早見	佐藤(洋)	第1・3(10:00～12:00) 一般外科外来(早見医師・佐藤医師(交代制)) 第2・4(9:00～11:30) 乳癌専門外来(※新大医師)完全予約制 第5は休診です				
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
皮 膚 科	09:00 12:00	1診		阿部(由)	阿部(由)		阿部(由)					
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
整 形 外 科	09:00 12:00 14:00 16:00	1診	鈴木(再来)	山本(新患)	鈴木(新患)	山本(再来)	鈴木	第1土曜日 山本 第2土曜日 和泉 第3土曜日 鈴木 第4土曜日 和泉 第5土曜日 鈴木・山本・和泉(交代制) *その時々によって変更の場合があります。 詳しくは、お問合せ下さい。				
		2診	和泉(新患)	和泉(再来)	和泉(新患)	和泉(再来)						
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
産 婦 人 科	09:00 12:00 14:00 17:00	1診	児玉	児玉	児玉	児玉	寺島	(9:00～11:45) 第1・5土曜日 児玉 第2・4土曜日 ※新大 医師 第3土曜日 寺島				
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
眼 科	09:00 12:00 14:00 17:00	1診	大矢	大矢	大矢	大矢	大矢	※新大医師 (予約制) 大矢 (治療・特殊検査)				
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										
産 婦 人 科	09:00 12:00 14:00 16:00	1診	前川 種浦(真) (予約制)	前川 種浦(真) (予約制)	前川 種浦(真) (予約制)	前川 種浦(真) (予約制)	前川 種浦(真) (予約制)	*予約の方優先とさせていただきますが、予約以外の方の診察も行ってあります。				
		2診										
		3診										
		4診										
		5診										
		6診										
		7診										

※医療法人 恒仁会 新潟南病院 新潟市中央区鳥屋野2007番地6 TEL025(284)2511(代) FAX025(284)2080